今年は、2月2日が節分です。

二十四節気にあわせて変化をする立春ですが、今年は3日となります。これはなんと124年振りのことらしいのですが、前回は、明治30年。福岡では八幡製鉄所が設立され、博多電灯会社により福岡市内にもようやく電気が灯り始めた頃となります。

今年の節分は、「暖かくなり、早くコロナウイルスが世界中で落ち着いてくれますように」と願い、豆を撒きたいと思います。家に忍び込んだ泥ぼうを牛たちと一緒にやっつけた鬼の子の話を子ども達と読んでいます。

きょうはせつぶん
『ふくは だれ？』
正岡慧子　作
古内ヨシ　絵
世界文化社より

2021 絵本の日アワード in 福岡
エピソード部門　大募集中！！

今年も早速、作品が集まり始めています。あなたと絵本の「想い出のエピソード」を文章にしてみませんか。

【対　象】これまでに出版されている絵本
【応募者】18歳以上どなたでも
【締　切】2021年6月30日必着
①『絵本名』著者　出版社
②エピソード　800字以内
（詳細は、HPをご覧ください。）

ペンギン豆知識
ペンギンの仲間達　72

☆ペンギンクイズ

草木や小石も巣の水気を切るために重要な材料として活用しているペンギンは、なにペンギンでしょうか？

答え　ジェンツーペンギン

南極の度いの島南極大陸ら6周辺、主ここと九州が5水に囲に南族分の南館布亜緯でし南4見て極6は極度長半の長崎島範囲

『新しい美しいペンギン図鑑』
デュイド・ロイ、マーク・ジョーンズ、ジュリー・コーンスウェイト作　上田一生監修・解説　エクスナレッジより

おすすめの絵本

今月は、映画になった絵本をテーマに「親子で一緒に楽しもう！絵本と映画の世界展」を開催します。

2015年に日本で劇場公開となった『くまのアーネストおじさんとセレスティーヌ』は、ベルギーブリュッセル出身の女性、ガブリエル・バンサン作「くまのアーネストおじさん」シリーズが原作です。アーネストが公園で掃除をしている時に見つけた子ねずみの女の子。生まれたばかりの子を抱き上げ、家に連れて帰り、母親代わりにミルクをのませ、名前をつけ懸命に世話します。目を開けた日、初めて笑った日・・・アーネストの日記がしっかりと教えてくれます。少女のように駄々をこね拗ねたり、看護師のように賢く看護するセレスティーヌとアーネストとの愛に溢れる物語を味わい深い絵でじっくりとお楽しみください。

司書　矢野　好美

「くまのアーネストおじさん」
シリーズ　ガブリエル・バンサン作
もりひさし訳　　BL 出版より

～　お知らせ　～

おはなし会のお休み
およびお昼休みの実施

福岡市内でのコロナ感染者増加に伴い、これ以上の感染を拡大させないために当面の間「おはなし会」を休止し、下記の時間帯を休館いたします。
また、施設の利用時間も1日3時間を目安に制限させていただきます。
みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

休館時間
平日　12時30分～14時00分
土日祝　13時00分～14時30分
（対象はキッズ、ベイビー、ラボ）

ウイルス等の感染予防